

令和3年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	答弁者
2	2	若林 志津子 議員	1 / 1
発言項目		要 旨	答弁者
1	コロナ禍での女性や子どもへの貧困対策	<p>コロナ禍で仕事なくなる方が増え、特にアルバイトやパートを打ち切られ収入が減り、生活が大変という方々が増えている。日本共産党富士宮市委員会では富士宮民報の読者や支持者等の協力の下、静岡大学の学生向けに行っているフードバンクに支援を続けている。お米、野菜、缶詰類及びレトルト食品などを支援してきたが、この頃では生活必需品としてマスク、シャンプー、石けん、トイレットペーパー、ティッシュペーパー及び生理用ナプキンなども支援の対象となってきた。支援をする中で支援を求めている人が多くいると実感している。</p> <p>(1) 生理の貧困をなくすために、生理用ナプキンの配布場所の拡大について。現在、市では、富士宮市社会福祉協議会で配布しているが、市役所でも配布し、また、その際、受け取る人が受け取りやすい取組が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 学校現場で児童生徒が受け取りやすい方法やそのための改善について伺う。</p>	市長 教育長 関係部長
2	小中学校での性教育の取組についての考え方	<p>(1) 全小中学校で、文部科学省が策定している「学校における性に関する指導」は行っているのか伺う。</p> <p>(2) 性教育はプライベートゾーンや性暴力への対処だけではなく、「からだは人権そのもの」との考え方で取り組むべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 保護者を含めて性教育をどう進めるかの議論をし、家庭も一体となって取り組める仕組みが必要と考えるがいかがか。</p>	市長 教育長 関係部長